

# ひらけコマ!

しずおかしりつとしょかん  
静岡市立図書館

Vol . 131 (2018冬号)

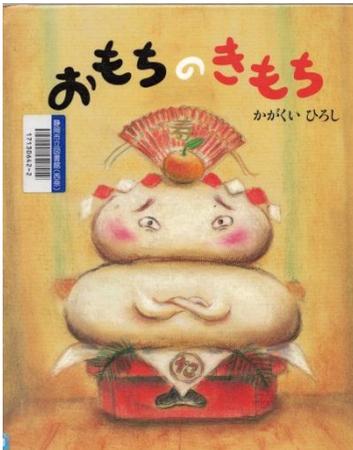
ふゆごう

とくしゅう  
特集 おもち

えほん 「おもちのきもち」

E カカク

かがくい ひろし / 作・絵 さく え 講談社 こうだんしゃ



おもちにも気持ちがあるのを知っていますか? たごさくさんちのかがみもちは、兄弟たちがのばされたりちぎられたり食べられたりしているのを見て逃げ出しました。その後、かがみもちはどうなったのでしょうか?

お正月にぴったりの子どもも大人も楽しめる絵本です。



ことわざクイズ! どんないみ?

「昔取った杵柄」

☆ きたえはいちばんさいごのページ

# えほん 「もちもちおもち」

しょうじ みちこ ちよ いわさきしよてん  
庄司 三智子 / 著 岩崎書店

E ショウ



あんこもちにきなこもち、いそべもちにくるみもち……。いろいろなおもちが登場します。自分の好きなおもちはどこで出てくるかな？

それぞれのおもちを早口言葉のようなりズミカルな文章で紹介。ぜひ声に出して読んでみてください。

# えほん 「もちの絵本」

えがわ かずのり / へん たけうち つーが / え

のうさんぎょせんぶんかきょうかい  
農山漁村文化協会

596.3

モ



どうしておもちがモチモチになるか知っていますか？お正月に食べるかがみ鏡もちやお雑煮から普段食べる草もちまで、知っているようで知らないおもちのことを知ることができる本です。おいしいおもちのつき方も細かく書いてあります。



ほかにもこんな本があるよ！

「おもちはずなぜふくれるの」

いまにし すけゆき さく にしかわ え しょうぼう  
今西 祐行 / 作 西川 おさむ / 絵 あすなろ書房

あか 913

イマニシ

# えほん 「おもちのおふろ」

E ウエカ

かんだ すみこ さく うえがき あゆこ え がっけん  
蒔田 澄子 / 作 植垣 歩子 / 絵 学研



おもちのもーちゃんとちーちゃんは、おふろ屋さんへ行きました。醤油の足湯にきなこの砂風呂、せっかく入ろうとしたのになかなかゆっくりできません。次はトースターのサウナですが……。

おふろ屋さんの細かい描写や、おもちたちの癒される表情にも注目です。

# こい わ 「恋する和パティシエール1 夢みるハートのさくらもち」

くどう じゅんこ さく え しゃ  
工藤 純子 / 作 うっけ / 絵 ポプラ社

あお 913

クウ



あか げんき わ が し や むすめ きさらぎあん  
明るく元気な和菓子屋の娘、如月杏は  
しょうらい ゆめ さくぶん か なや  
将来の夢についての作文が書けずに悩んで  
います。そんなとき、むかしとなりす  
で隣に住んでい  
かすき あらわ ともだち くわ にん  
た一樹が現れ、友達を加えた4人でさくら  
もちをアレンジした人を幸せにする  
わ が し つく ちょうせん  
和菓子作りに挑戦します。

ゆうじょう こいごころ かん わ が し  
友情とほんのり恋心を感じる、和菓子  
のようなほっこりしたお話です。

# だいけんきゅう 「おもちの大研究 日本人とおもちの美味しい関係」

かさはら しげる ちょ こくれ けんじろう かんけい  
笠原 秀 / 著 木暮 健二郎 / イラスト PHP研究所

383.81

カ

# ごまはかせ と こま太くんの どうやってしらべるの？



こま太くん

こまったなー、こまったなー。はかせ、今度手作り  
こんどてづく  
たこあ 風揚げ大会があるから参加したいんだけど……。

ほう、それは楽しみじゃのう。もう大会用  
たいかいよう  
の風は作ったのかな？



ごまはかせ



まだこれからだよ。実はぼく、材料や  
ざいりょう  
作り方がよくわからないんだ。

それなら、図書館に行って調べてみよう！



まず、目的の本を見つけるためには、風の本がどの分類にあて  
もくてき ほん み  
はまるかだが……。7の分類の棚、芸術・スポーツのコーナー  
ぶんるい たこ ほん ぶんるい  
に行ってください。風の作り方が載っている本があるはずじゃ。  
3の分類の棚、社会科学のコーナーには、風揚げをはじめとし  
ぶんるい たな しゃかいかがく たこあ  
た昔の遊びの本もあるんじゃよ。



あ、あったよ。風の作り方がくわしく載っている  
たこ つく かた の  
本を見つけたよ。これならぼくにも作れるよ。

よかったの～。高く揚がるといいのう！わしも  
たか あ  
子どもの頃を思い出して作ってみようかの～。



表紙の  
こたえ

かつて鍛えて身に付けた技量や腕前のこと。  
また、それが年月が経っても衰えないことのとえ。